

所属	大垣市都市計画部都市施設課
担当	課長：清水 係長：辻 担当：栞山
連絡先	0584-81-4111（内線678）

## 大垣公園改修事業について

大垣公園は、平成21年度から2ヵ年計画で改修工事を実施している。昨年度は芝生広場約6,000㎡（3,500㎡→6,000㎡）を整備した。本年度は引き続き遊戯広場約4,600㎡を事業費約38,000千円で整備する。

### 1. 今年度の事業概要

大垣公園遊戯広場約4,600㎡を整備 工事費約38,000千円

工事期間：12月中旬～平成23年3月中旬

※イメージパース及び平面図は別紙

#### ① 大型複合遊具

大垣城のお堀や輪中など当市の特色をイメージした回遊性の高いデザインとし、子どもたちの想像力をかきたて、体力向上と社会性の形成を図り、**安全で安心して**利用できる遊具としている。また、災害時にはシートを張り、仮設テントとして利用できるほか、部分的に間伐材を使用し環境への配慮も行っている。

#### ② 遊戯広場

大型複合遊具の更新にあわせ、配置変更を行い、ゾーン分けを実施する。主にイルカの噴水から東側を6歳から12歳を対象とした大型複合遊具のある児童ゾーン、西側を6歳以下の幼児用遊具のある幼児ゾーンとする。安全領域を考慮した遊具の配置や動線を確保し、幅広い年齢層が安心して安全に使用できるようにする。

#### ③ 太陽光発電によるLED園内灯の設置

公園は、災害時や復興初期において救助・救援隊やボランティア等の活動拠点など重要な役割を果たす。災害時における夜間の停電でも安全に避難できるよう、**公園西側出入口**に太陽エネルギーを利用したLED園内灯を設置し、避難者を安全に誘導すると共に、救援活動が円滑に行えるようにする。

また、既設園内灯の灯具においてもLED用に更新し、二酸化炭素の排出量の抑制を行う。

## 2. 目的

少子高齢化社会の進展、環境負荷の軽減や防災の向上が叫ばれる社会情勢の中、子育て日本一を目指す本市において、安全で安心して、子どもたちが楽しく遊べる複合遊具を更新することで、子ども達の遊びの拠点づくりだけでなく、世代間の交流促進や、環境意識の向上、防災機能の拡充や中心市街地の活性化を目指す。

- \* 子育て支援の拡充・・・幼児・児童等の体力向上や社会性の形成
- \* 高齢社会への対応・・・健康増進と世代間のふれあい
- \* 環境負荷の軽減・・・環境意識の向上・CO<sub>2</sub>排出量の抑制・間伐材の有効利用
- \* 防災機能の拡充・・・遊具を利用した仮設テント・避難時のストレス解消
- \* 中心市街地の活性化・・・来園者の増加

## 3. これまでの経緯

従来の大垣公園の大型複合遊具は、平成2年に設置されてから20年が経過。多くの市民に愛用されてきたが、使用頻度が高く磨耗や消耗が著しいため、維持管理に大きな経費が必要となっている。また、滑り台の手すりの高さや遊具の屋根の高さなど、国土交通省の「都市公園における遊具の安全確保に関する指針」及び(社)日本公園施設業協会の「遊具の安全に関する規準」に適合していない。

また、平成20年の改正では、遊具について新たに標準使用期間の考え方が加わり、鋼製の公園遊具は、15年が目安となった。